

令和6年度 第3回下野市地域公共交通会議 会議録

日時	令和7年1月29日（月）午後2時～午後3時
開催場所	下野市役所3階 303会議室
出席者	長田委員（会長）、真下委員、角田委員、鶴見委員、原委員、薛委員、山川委員、金清委員、一戸委員、菅井委員、滝田氏（石崎委員代理）、中田委員、荒井氏（塩田委員代理）、荒川委員、小矢島委員、本澤氏（君島委員代理）、藤田委員、井沼委員、川嶋委員 19名
欠席委員	佐藤委員、菊地委員、横尾委員、保坂委員、直井委員 5名
傍聴者	1名

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について
 - (2) 地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について
 - (3) 小山市コミュニティバス「おーバス」の運行内容見直しについて
 - (4) 下野市地域公共交通計画の改訂について
 - (5) 自動運転バス実証実験について
 - (6) その他

（事務局） 4. 閉会

○開会

（長田会長） ○会長あいさつ

○議事録署名人選任

名簿No.6番 鶴見委員、名簿No.16番 荒井氏

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者19名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

○議題 1【地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について】

○議題 2【地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について】

- (長田会長) 議題 1 及び議題 2 について、一括して事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請及び事業評価について説明（資料 1）（資料 2）。
- (長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (菅井委員) ・事業評価の③欄について前回の評価結果を記載の上、取組状況を記載してほしい。
- ・自動音声対応の実証実験とはどのような内容なのか。
- ・AI 配車システムを導入しているが、スマホ等での予約率はどのくらいか。
- (事務局) ・事業評価の③欄については前回の評価結果を踏まえた記載に修正する。
- ・自動音声対応については、電話がつながりにくい状況に対応するため、キャンセルのみを自動音声で対応するようにしたが、実際の利用者は数件であったため、本格導入には至っていない。
- ・スマホ等の WEB での予約率は 10%未満となっている。
- (小矢島委員) 事業評価の⑤欄の効果達成状況について、目標が 1 つのため達成できないと「C」評価になってしまうので、来年度は複数の目標を検討したほうが良いのではないか。
- (事務局) 来年度の目標については検討する。
- (長田会長) 事業評価については承認案件となるのでお諮りしたい。
- ～挙手全員～
- 承認ということで修正のうえ国に提出させていただく。

○議題 3【小山市コミュニティバス「おーバス」の運行内容見直しについて】

- (長田会長) 議題 3 について、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 「おーバス」の運行内容見直しについて説明（資料 3）。
- (長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (栃木県滝田氏) 下野市において欠損補助等の運行経費の負担は発生するのか。
- (事務局) 下野市では運行経費の負担はない。
- (長田会長) 運賃はこれまで 400 円であったものが 200 円になるということか。
- (事務局) これまで最大 400 円であったが、おーバス運賃の 200 円になると聞いている。

- (長田会長) 協議事項であるためお諮りしたい。
～挙手全員～
承認ということで、協議結果については事務局から小山市に報告をお願いします。

○議題4【下野市地域公共交通計画の改訂について】

- (長田会長) 議題4について、事務局より説明をお願いします。
(事務局) 下野市地域公共交通計画の改訂について説明（資料4）。
(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
(山川委員) デマンド交通の利用者が少なくなっているのは、高齢化により外出できる人が少なくなっていることが原因ではないか。
(事務局) 登録者は毎月増えているため、利用希望者は増えている。利用者の減少の1つの要因として、ヘビーユーザーの減少も考えられる。
(山川委員) きらら館のトレーニング室に通っている高齢者の話を聞くと、デマンド交通を使いたいけど電話予約の煩わしさと乗合ということで使いにくいという意見があった。
(金清委員) デマンド交通の利用時間によって運賃に差を設けるような話があったが、どのように考えているか。
(事務局) 今後の運賃改定の協議の中で、検討していきたい。
(長田会長) 計画策定の委託契約が5月～6月となっているが、4月～5月は動かないのか。
(事務局) 契約を2本に分ける予定。補助対象事業については交付決定後の5月～6月に契約予定だが、それ以外については4月1日契約を予定している。

○議題5【自動運転バス実証実験について】

- (長田会長) 事務局より説明をお願いします。
(事務局) 令和6年度の自動運転バス実証実験について説明（資料5）
(長田会長) 委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
(井沼委員) 11時台と12時台が自動運転ではない理由はあるのか。
(関東自動車荒井氏) 運転手の休憩時間である昼の時間帯は別の車両が運行するため、自動運転ではない。
(長田会長) 栃木県から補足があればお願いします。
(栃木県滝田氏) 昨年度は栃木県のABCプロジェクトの中で実証実験を行ったが、今年度からは令和7年度中のレベル4での運行を目標に栃木県、下野市、

関東自動車で実証実験に取り組んでいる。今後の経過についてはこの公共交通会議のなかで報告させていただきたい。

○議題6【その他】

(長田会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 前回、直井委員から質問があったようがおバスの石橋病院への乗り入れの検討状況について確認したい。

(関東自動車荒井氏) 社内でも検討している。

石橋病院へ乗り入れする場合、片道5分、往復で10分運行時間が延びる見込み。その積み重ねにより、運転手の労働時間の制限にどのように影響してくるかを調査している。影響が大きい場合、石橋病院への乗り入れは難しい場合もあるが、まだ明確な回答ができない。労働時間の制限やルート選定を踏まえて検討しているところである。

(事務局) 令和7年度から公共交通の事務全般が都市建設部の都市政策課に移管する予定のため、現在調整しているところ。

令和7年4月から、公共交通会議の事務局も都市政策課になるが引き続き、ご協力をお願いしたい。

(長田会長) 本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。

(事務局) 以上で本日の会議は終了とする。

○閉会